

中部 NOW

〈発行〉

(公財)オイスカ中部日本研修センター 〒470-0328 豊田市勤八町勤八 27-56

TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103 E-mail: chubutc@oisca.org HP: <http://oisca.org/>

研修生 基礎研修了式

今年の2月中旬に入国した新研修生が、3月27日に基礎研修了式を行いました。農業の研修生は4人、家政研修生は1人です。農業研修生の4人はマレーシア、バングラデシュ、スリランカとインド、家政研修生は、メキシコからの研修生です。

家政研修生のフアンさんは、2016年にオイスカ中部日本研修センターで短期研修を研修した事があって、日本語理解が高いです。農業の新研修生は、初めて来た時日本語が話せませんでした。今では少しずつ簡単な会話ができるようになりました。

基礎研修の間、研修生は日本語、規律訓練、時間の管理、日本の生活などの勉強をしました。基礎研修が終わったら本研修を始めます。本研修は基本的には農業の研修が多くなります。土作りから野菜が販売に出せるまでの勉強をします。家政研修生は、料理だけではなくメニュー作り、お菓子作り、パン作りなどを勉強します。

今年では先輩研修生もいます。先輩研修生が後輩をしっかり見守ってくれるし、リーダーシップの勉強にもなると思いますので研修生の成長を楽しみにしています。皆様、引き続きよろしく願っています。

ガイ



コラム

「伝統を受け継ぐ」

法人・個人会員の皆様、日頃よりオイスカへの御支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年には桜の開花が早く、3月28日に研修生たちとセンターでお花見をしました。センターの藤の花もすでに満開でつじの花がちらほら咲き始めています(4月20日現在)。

さて、会員の皆様のご支援により2月に新研修生5名(マレーシア・バングラデシュ・スリランカ・インド・メキシコ)が入国しました。先輩研修生を合わせて10名になりました。

研修主任のレニ指導員によると、2年目の研修生は入国して1年が経ち、「動きが1年目とは全然違う」と言っていました。インド研修生のシャム君は、日本語が全く分からない後輩研修生をみて「私たちが日本に来たときもこんなに大変だったんですね。先生たちも大変だったんですね」と振り返ります。先輩研修生は我々職員の中をよく見えています。そして後輩研修生は先輩研修生の背中をみながら、オイスカの精神を身につけてゆくことでしょう。

最近思うことがあります。それは、「人間は一人一人に善なるすばらしいものをたくさん備えている」ということです。それが普段は心の奥底に隠れており、表に現れてこない。これを表に現していくスイッチがたくさん心の中に備え付けられているが、そのスイッチは「OFF」になっている人が多い。このスイッチを「ON」にする仕掛けがオイスカの研修センターに詰まっている。

わずか6日というオイスカ研修でなぜ新入社員が変わるのか。それは、彼ら自身が研修を通じて、自分の心に眠っていたスイッチを自分で「ON」にしただけなんです。

このスイッチは新しいものでありません。伝統的に受け継がれて生きた日本にもともとある人づくりの精神そのものだったんだと気づきました。伝統は有形無形の価値があります。なくせば、簡単に消失してしまうはかないものです。これを次世代に継承したいものです。

小杉 裕一郎

第109回 新入社員研修を実施

4月1日(1日コース)、5日～10日(フルコース)、第109期新入社員研修を実施しました。名古屋東部陸運(株)・日本モールド工業(株)・太啓建設(株)・(株)浅野機械工業所・(公財)オイスカの5事業所32名に参加いただきました。

オイスカの新入社員研修は新入社員に必須のビジネスマナー等に加え、オイスカならではの体験型の特徴ある研修内容になっています。挨拶実習、トイレ掃除実習、農業実習、生命の循環実習(鶏解体)、野外総合実習などを通じ、リーダーシップやチームの一体感と感謝力を高める研修です。参加された新入社員様の今後の活躍を期待しています。

小杉裕一郎



4月8日 創作ゲーム



4月9日 野外総合実習



4月10日 グループ討議



4月7日 生命の循環実習



勝野 哲会長



3月6日、オイスカ中部日本後援会によるオイスカ活動報告会が名古屋市の東桜会館にて行われました。後援会会長は、中部電力株式会社(勝野哲氏(中部電力(株)会長)。中部日本後援会は、中部経済連合会加盟のオイスカ会員企業にて組織されています。

今回は、オイスカ本部の吉田部長から宮城県での海岸林再生事業などの活動報告がありました。勝野会長の挨拶の後、吉田部長は現場での経験を踏まえ多くのスライドを使い、熱のこもった話をしました。

森田 惣一

オイスカ中部日本後援会主催
オイスカ活動報告会



全国支部研修会を実施

4月17日～18日の2日間にわたり、全国支部事務局員が一堂に会し、「全国支部研修会」が実施されました。

本研修会は、オイスカ本部が主催し、昨年西日本センターで開催され、今回は中部センターを会場に2回目の開催となりました。グループに分かれて、昨年各支部事務局で定めた「チャレンジ宣言」の進捗状況の確認や、本部・支部間の連携について、話し合いが行われました。たくさんの学びと気づきを得て散会。各県支部の組織力のつながることが期待されます。

森田惣一



各グループで意見交換・発表



3・4月 研修生の活動 レニ



トマトの芽かき



キュウリ定植



稲苗のぼかし肥料づくり



ほうれん草の収穫



ほうれん草の出荷準備



稲の播種、ボランティアの皆さんに手伝って頂きました



近藤産興株式会社様から 毛布100枚寄贈



寄贈いただいた毛布と
オイスカ海外研修生・技能実習生



3月25日、近藤産興株式会社様（特別法人会員・本社名古屋市中区）の近藤昌三社長と近藤元帥専務のご対応により、新品毛布100枚を寄贈いただきました。研修生・技能生のために活用させていただきます。ありがとうございます！

小杉裕一郎

オイスカ愛知県支部 幹事会

4月25日、中部日本研修センターにて愛知県支部幹事会（総会）が行われました。今年の主な事業計画は11月の2026オイスカデー、6月の会員増強月間、ほぼ毎月の農業ボランティアの三つです。多くの皆様の御理解とご協力の基に実施してゆきたいと考えています。

森田惣一



マルビンさん着任

4月から中部センターに着任しました、マルビンと申します。フィリピンから参りました。どうぞよろしくお願い致します。

1999年にオイスカ西日本研修センターで農業の研修生として研修を受けました。また2008年から1年間、農業指導員研修生として再度研修を受けました。その後2011年に再来日し、2026年3月まで15年間、西日本研修センターでスタッフとして勤務しました。主に稲作と養鶏を担当していました。また、農業機械の整備も担当していました。

これまでの経験を活かし、中部センターでも農業指導を担当します。どうぞよろしくお願い致します。



更新会員名簿(704/779)

安城(75/90) 有限会社 かねとみ
岡崎(25/26) 新海正春
豊田(179/203) 奥平芳晴、桜電設 株式会社、高木禎宜、中村仁美、中山純二、粕谷忠弘、牧野内隆夫、松村鉦一、谷口隆、酒向淳治、うたぐえグループ わいがや
名古屋(51/56) 小池商事 株式会社、株式会社 代輝
名古屋北(28/33) 長縄裕一
名古屋西(11/13) 加藤慎二、株式会社 GUNSHIコーポレーション、株式会社 鈴木産業
名古屋東(19/22) 株式会社 タカギスチール、株式会社 ダイバーシティ・ジャパン、株式会社 三栄、ホールディングス、株式会社 大喜荘
丹羽(63/66) 大前温子、有限会社 市川豊インテリア、眞喜智也
半田(18/19) 手島ガス住設 株式会社
碧南高浜(37/45) 田代清一
みよし(40/36) 株式会社 花田鐵工所
センター(42/47) 渡会一昭、山下清志、市脇公平、永井祥一、山口朝子、大木雅俊、株式会社 健康ファーム、安部雅之

(三月末まで掲載)

ベルマーク

二宮恵美子(四日市市)
株式会社 山信商店(豊田市)
稲垣ヒサエ(豊田市)



寄付品

ゆう農会(豊田市)
村松明(西尾市)
原田写真館(豊田市)
松野誠寛
中村建設 株式会社(浜松市)
明保澄雄(岡崎市)
John Phlio Salvador(秋田県)
株式会社 maruichi(犬山市)
服部俊美
土屋峻
萩原玲子

書き損じはがき
酒向淳治(豊田市)

インクカートリッジ

梅村清春(豊田市)
安成工業 株式会社(安城市)
酒井喜代子(丹羽郡大口町)



センターの中庭の藤の花